

平成30年12月期 第2四半期
決算説明資料

1 平成30年12月期 第2四半期決算概要 3

会社概要

平成30年12月期 第2四半期ハイライト

四半期連結損益計算書

四半期連結貸借対照表

2 当四半期の成果、及び今後の課題と対応 12

スポーツ事業 . . . 株式会社ジェイスports

不動産事業 . . . 株式会社シナジー・コンサルティング

Web事業 株式会社アセット・ジーニアス

1. 平成30年12月期 第2四半期決算概要

商号	株式会社ジェイホールディングス
本社所在地	東京都港区新橋五丁目14番10号 新橋スクエアビル5階
設立	平成 5年 1月 25日
代表者	代表取締役社長 上野 真司
資本金	4億 3,206万円 (平成 30年 6月末時点)
役員数	48名 (平成 30年 6月末時点 連結子会社を含む)
事業内容	スポーツ事業 不動産事業 Web関連事業
連結子会社	株式会社ジェイスポーツ 株式会社シナジー・コンサルティング 株式会社アセット・ジーニアス

1 外部環境

- ✓ 当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景に企業収益の回復や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移。
- ✓ 不動産業界
賃貸及び売買市場に関しては、雇用環境と企業業績の改善を背景に好調だった前期の水準を維持。
投資不動産市場に関しては、資金調達方法の多様化や投資対象物件のバリュエーションが拡大していることなどを背景に投資資金が流入する状況が継続しており、引き続き良好な環境と認識。
- ✓ インターネット業界
ブロックチェーンや人工知能などの先端IT技術の研究によって、日常生活への活用と普及が進むことにより、更なる需要の拡大が期待。

2

当社グループのセグメント概況

- ✓ **スポーツ事業**
東山田店は、イベント収入は増加したものの、施設売上の減少等により減収減益。
つかしん店は、スクール会員数が増加したものの、施設売上が減少したことにより減収減益。
- ✓ **不動産事業**
一棟物不動産販売事業を主たる業務としつつ、同時に区分所有不動産販売事業、
区分所有不動産仲介事業等を行う。加えて、一棟物不動産仲介事業等についても強化し、
人員増強を含めた経営資源の積極投入を行った。その結果、
前年同期比で減収となるものの（セグメント売上高859百万円、対前年同期比53.8%減）
大幅な増益を実現（セグメント利益120百万円、対前年同期比47.9%増）。
- ✓ **Web事業**
美容医療に関するポータルサイト事業は、引き続き高い収益性を確保

(1) 四半期損益計算書【連結】



不動産事業の減収が影響しグループ全体で減収となるものの、収益性は改善
売上の拡大とともに、収益性のさらなる向上が課題

(単位：千円)

	平成29年 第2四半期		平成30年 第2四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	1,983,413	100.0%	969,162	100.0%	48.9%
売上原価	1,723,991	86.9%	609,723	62.9%	35.4%
売上総利益	259,422	13.1%	359,438	37.1%	138.6%
販管費	197,974	10.0%	263,292	27.2%	133.0%
営業利益	61,447	3.1%	96,146	9.9%	156.5%

※平成29年第2四半期の連結損益計算において、「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた「支払手数料」のうち不動産売却仲介手数料3,300千円は、「売上原価」として組み替えております。

(2) 四半期損益計算書【株式会社ジェイスポーツ】



**スポーツ事業：東山田店、つかしん店ともに減収減益
両店舗とも売上の拡大が急務**

(単位：千円)

	平成29年 第2四半期		平成30年 第2四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	51,696	100.0%	47,623	100.0%	92.1%
売上原価	36,249	70.1%	34,164	71.7%	94.2%
売上総利益	15,446	29.9%	13,458	28.3%	87.1%
販管費	3,276	6.3%	3,019	6.3%	92.2%
営業利益	12,170	23.5%	10,438	21.9%	85.8%

(3) 四半期損益計算書【株式会社シナジー・コンサルティング】

不動産事業：減収増益（P14参照）

(単位：千円)

	平成29年 第2四半期		平成30年 第2四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	1,858,275	100.0%	859,397	100.0%	46.2%
売上原価	1,666,874	89.7%	560,544	65.2%	33.6%
売上総利益	191,401	10.3%	298,853	34.8%	156.1%
販管費	110,111	5.9%	178,622	20.8%	162.2%
営業利益	81,290	4.4%	120,230	14.0%	147.9%

※平成29年第2四半期の連結損益計算において、「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた「支払手数料」のうち不動産売却仲介手数料3,300千円は、「売上原価」として組み替えております。

(4) 四半期損益計算書【株式会社アセット・ジーニアス】



Web事業：(株)フクロウから(株)アセット・ジーニアスに社名変更
新規分野への参入を実現化へ

(単位：千円)

	平成29年 第2四半期		平成30年 第2四半期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年比
売上高	73,441	100.0%	62,141	100.0%	84.6%
売上原価	20,868	28.4%	15,014	24.2%	72.0%
売上総利益	52,573	71.6%	47,126	75.8%	89.6%
販管費	6,191	8.4%	7,563	12.2%	122.2%
営業利益	46,382	63.2%	39,563	63.7%	85.3%

(5) 四半期貸借対照表【連結】



利益額の増加等に伴い、純資産額、自己資本比率（※）が上昇
財務体質の改善が進行中

(単位：千円)

	前期 平成29年6月30日	当期 平成30年6月30日	対前年 6月末比		前期 平成29年6月30日	当期 平成30年6月30日	対前年 6月末比
流動資産	179,293	642,573	358.4%	流動負債	78,072	295,840	378.9%
固定資産	135,506	120,306	88.8%	固定負債	63,972	6,994	10.9%
資産合計	314,799	762,879	242.3%	負債合計	142,044	302,834	213.2%
				純資産	172,754	460,045	266.3%

※自己資本比率

43.5% (平成29年6月末)

→ 57.5% (平成30年6月末)

2. 当四半期の成果、及び今後の課題と対応

1 当四半期の成果

- ✓ 東山田店は、イベント収入は増加したものの、施設売上の減少等により減収減益。
- ✓ つかしん店は、スクール会員数が増加したものの、施設売上が減少したことにより減収減益。
- ✓ 結果、当セグメントは減収（前年同期比△7.9%）減益（同△14.2%）。

2 今後の課題と対応

- ✓ 「東山田店」「つかしん店」において、顧客基盤の拡大を急務として、スクール会員数、集客の増加を図り、
セグメント収入、収益の改善を目指す。

1 当四半期の成果

- ✓ 前第2四半期には比較的規模の大きい一棟物不動産の販売があったのに対して、当第2四半期にはなかった。
そのため、売上高は前年同期比53.8%減の859百万円となったが、前第2四半期から、不動産販売だけでなく、不動産売買の仲介業務にも注力したことにより、営業利益は前年同期比47.9%増の120百万円となった。

2 今後の課題と対応

- ✓ 金融機関との連携の強化、人員補強による営業体制の強化に伴い
案件件数、成約件数の増加を図る。
- ✓ 当社Web事業部門との連携を強化
売上高、及び営業利益ともに過去最高額を目指す。

1 当四半期の成果

- ✓ 当四半期は引き続き美容医療分野を対象としたポータルサイトの運営により安定した売上高、及び利益率の高い収益を確保。

2 今後の課題と対応

- ✓ 当社不動産事業部門と連携した不動産管理のためのWebアプリを開発
→ サービスの運用（β版）を開始。
- ✓ ブロックチェーン技術を用い、分散型評価経済プラットフォームを活用した事業を行う
HAPPY INCENT PTE.LTD.（本社：シンガポール）からシステム開発を受注。
→ 収益化に向け本格始動。



【将来見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問合せ】 株式会社ジェイホールディングス 管理本部

TEL:03-6430-3461 E-mail:info@jholdings.co.jp